



l'existence précède l'essence (実在は本質に先立つ)

◆履修登録に向けて◆

履修登録説明会を1週間後に控えた9月24日、都留高校出身で社会で活躍している先輩からお話を聞いて自分の生き方や職業について考える恒例行事、「キャリアガイダンス講演会」が実施されました。

今年度は、甲斐氏副市長(総務省より出向)の関口龍海氏に講師をお願いし、「小さな郷土愛から」という題目で講演していただきました。関口氏は廣瀬校長先生の教え子ということで、校長先生から“(関口氏は)高校時代から「こうありたい」から「こうしたい」という考えのある生徒であった”と紹介がありました。紹介に続く関口氏の話から、「困っている人を助けたいという正義を実現する人」という「こうありたい」のために、「公務員としてよりよい社会の仕組みづくりに尽力する」という「こうしたい」を持っていることが分かりました。

これから2年次の履修登録をするにあたり、当然、将来を考えたくて判断していくと思いますが、「看護師になりたい」から理系、「公務員になりたい」から文系ではなく、その先にあるもの—つまり看護師になって「どうしたい」のか、それをすることによって自分は「どうありたいのか」を考えてください。

参考になるか分かりませんが、小俣先生の場合は歴史が好きで、「歴史を生涯学び続けることで幸せな人生を送れる人になりたい」という「こうありたい」があり、「社会科の教師になって授業の準備を通して歴史を学び続けたい」という「こうしたい」に基づいて、国立大学の教育学部に進学しました。現状と比較すると、「歴史」の部分が「地理」にかわっていますが、「生涯学び続けることで幸せな人生を送れる人になりたい」という「こうありたい」はブレていませんので、イヤなことがあっても仕事を辞めたいと思ったことはありません。また関口氏と比べると自分本位な「こうありたい」で恥ずかしい限りですが、自分が学ぶことで授業を受ける生徒に好影響があり、その生徒がやがて社会で活躍することで間接的に社会に貢献することになると考えています。(なのでみなさん、ぜひ社会で活躍する人になってくださいね♪)

◆好成績者の学習法◆

第2回定期試験の成績処理が終わりました。ここでは、第2回定期試験で成績上位者(上位10名)がどのように学習していたかを紹介しますので、第3回定期試験に向けてすぐに真似してください。ポイントは、「学習の量」「学習の質」「計画性」です。

いつから学習を始めたか？

どのように試験勉強をしているか？(複数回答)

2週間以前	4
2週間	6
1週間	0
直前の土日	0
前日	0

教科書の範囲部分に目を通す	8
試験範囲部分の問題に取り組み、答えを暗記する	7
なぜそうなるのかを理解するようにしている	10
試験範囲表の「試験によって評価すること」の項目を確認し、それができかを確認しながら学習をすすめる	8

10名中すべての人が2週間以上は学習期間を取り、学習時間を確保しています。またその理由としては「計画して取り組むのが習慣だから」や「勉強が苦手だから」がありました。苦手な人は、時間がかかるのは当然ですね。それを自覚して「どうすればよいか」を考え、しっかり実践して結果を出した点がとても素晴らしいと思いました。

学習方法としては、すべての人が「なぜそうなるのかを理解するようにしている」と回答しています。一方で、成績下位者の場合は10人中3人しかそのように回答していません。反対に成績下位者10人中9人が「試験範囲部分の問題に取り組み、答えを暗記する」に回答していました。答えの暗記では、まったく同じ問題でなければ正解できませんよね。もし暗記力を測定するならそれでもよいのですが、先生方が試験で評価したいのは残念ながら暗記力ではないようです。では、なにを評価したいのか。それは定期試験範囲表に記載されていますね。見てみると、「〇〇を理解している」という記述が多くなっています。「〇〇を理解している」とは、「なぜそうなるのか」を知るということであり、それを的確に測定するには、問題集の問題とは違った

問題でなければできないのではないのでしょうか。

成績上位者はそのことをよく認識しており、10人中8人が「試験範囲表の“試験によって評価すること”の項目を確認し、それができるかを確認しながら学習をすすめる」に回答しています。(成績下位者は10人中なんと1名でした)。

試験は、学力の到達度を評価するものです。それで得点を取るためには、「どのような力を評価するのか」を知り、それを培う取組をする必要があります。成績上位者は、それを把握した上で戦略を練り(計画性)、そこから逆算して十分な時間を設定し(学習の量)、「なぜそうなるのかを理解するようにしている」(学習の質)という学習をしているのです。ちなみに、暗記した答えは試験が終わった瞬間に忘れてしまいますが、「なぜそうなるのか」は一度理解するとなかなか忘れませんので、模試でも覚えていきます。

「なぜそうなるのか」という知識の習得こそ、実は効率的な学習のポイントなのです。

◆10月の予定◆

日	曜	行 事	備考
1	金		
2	土	駿台模試	
3	日		
4	月		
5	火		
6	水		
7	木		
8	金	立会演説会 英 検	新生徒会役員を決める大事な機会です
9	土	土曜学習会	
10	日		
11	月		
12	火		
13	水		
14	木		
15	金	生徒会役員認証式	
16	土		
17	日		
18	月		
19	火		
20	水		
21	木	都留文科大学訪問	
22	金	つる探中間発表会	どんな発表になるのか、楽しみです
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		
30	土	進研模試	学力の全国大会 第2弾
31	日		

◆保護者の皆様へ◆

秋は生徒の変容が見られる時期です。気になることがありましたら、お気軽にご連絡ください。